



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東
 コード番号 7521 URL <https://www.musashinet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 山本 義明 TEL 03-3546-7710
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	19,851	12.7	1,127	—	1,153	—	899	—
2019年3月期第2四半期	17,611	9.2	△69	—	△29	—	5	△92.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 786百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △82百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	120.83	—
2019年3月期第2四半期	0.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	44,083	27,850	63.2
2019年3月期	44,211	27,153	61.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 27,850百万円 2019年3月期 27,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	12.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期第2四半期末の内訳 普通配当 12円00銭 特別配当 8円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,137	2.7	1,375	348.2	1,423	267.6	1,048	470.9	140.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	7,950,000株	2019年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	506,609株	2019年3月期	506,537株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	7,443,403株	2019年3月期2Q	7,443,463株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱等による外需減速の懸念や、中東情勢の緊迫など先行きの不透明感が払拭されない状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

(情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売が好調だったほか、工業用検査機材や業務用ろ過フィルターの販売も概ね順調に推移しました。また、文書のデジタル化事業については官公庁からの大型案件の受注が若干低調に推移いたしました。

印刷システム機材は、印刷材料の販売は概ね順調でしたが、CTPやPODなど印刷機器の販売が若干低調に推移いたしました。

(金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、紙幣整理機など金融機関向け貨幣処理機器の販売が設備投資抑制の影響により低調に推移いたしました。

選挙システム機材は、4月の統一地方選挙や7月の参議院選挙向けに、投票用紙交付機の新製品をはじめ投票用紙読取分類機や計数機などの機器の販売が好調に推移したほか、投票管理システムの販売も元号改正に伴う改修案件などが伸びました。

(紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、医薬品向け紙器用板紙の販売は伸びましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受けました。また、子会社エム・ビー・エス(株)における感圧紙等の販売は概ね順調に推移いたしました。

(不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高198億51百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益11億27百万円(前年同期は営業損失69百万円)、経常利益11億53百万円(前年同期は経常損失29百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益8億99百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は337億27百万円となり、前連結会計年度末より5億51百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(21億円)及び流動資産の「その他」の減少(1億38百万円)、増加の主な要因は、現金及び預金の増加(16億84百万円)であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は103億55百万円となり、前連結会計年度末より4億23百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、有形固定資産(主に建物及び土地)の増加(4億55百万円)であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は142億85百万円となり、前連結会計年度末より3億15百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、電子記録債務の減少(6億4百万円)及び支払手形及び買掛金の減少(1億33百万円)、増加の主な要因は、未払法人税等の増加(1億62百万円)及び流動負債の「その他」の増加(2億84百万円)であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は19億48百万円となり、前連結会計年度末より5億9百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、役員退職慰労引当金の減少(4億73百万円)であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は278億50百万円となり、前連結会計年度末より6億97百万円増加いたしました。

増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益8億99百万円、減少の要因は、剰余金の配当89百万円及びその他の包括利益累計額の減少(1億12百万円)であります。

この結果、自己資本比率は63.2%(前連結会計年度末は61.4%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は前連結会計年度末に比べ16億79百万円増加し、195億37百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は25億58百万円となりました。(前年同期は5億37百万円の資金使用)

これは、税金等調整前四半期純利益11億53百万円、減価償却費1億61百万円、売上債権の減少20億93百万円等の収入要因がありましたが、仕入債務の減少7億33百万円、役員退職慰労引当金の減少4億73百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億88百万円となりました。(前年同期は1億8百万円の資金獲得)

これは、主に有形固定資産の取得による支出6億2百万円、事業の譲受による支出95百万円及び無形固定資産の取得による支出64百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は89百万円となりました。(前年同期は1億48百万円の資金使用)

これは、配当金の支払89百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月29日付「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,747	20,432
受取手形及び売掛金	11,754	9,653
商品及び製品	2,739	2,744
仕掛品	78	58
原材料及び貯蔵品	470	488
その他	495	356
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	34,279	33,727
固定資産		
有形固定資産	3,216	3,672
無形固定資産	408	470
投資その他の資産	6,307	6,212
固定資産合計	9,931	10,355
資産合計	44,211	44,083
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,122	5,988
電子記録債務	3,698	3,094
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	68	230
賞与引当金	425	400
その他	769	1,053
流動負債合計	14,600	14,285
固定負債		
退職給付に係る負債	214	204
役員退職慰労引当金	1,386	913
その他	855	830
固定負債合計	2,457	1,948
負債合計	17,058	16,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	24,190	25,000
自己株式	△576	△577
株主資本合計	26,827	27,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	127
退職給付に係る調整累計額	110	85
その他の包括利益累計額合計	325	212
純資産合計	27,153	27,850
負債純資産合計	44,211	44,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,611	19,851
売上原価	13,965	14,823
売上総利益	3,645	5,027
販売費及び一般管理費	3,714	3,899
営業利益又は営業損失(△)	△69	1,127
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	28	24
持分法による投資利益	2	12
貸倒引当金戻入額	2	0
その他	22	24
営業外収益合計	57	64
営業外費用		
支払利息	16	16
貸倒引当金繰入額	—	7
退職給付費用	—	11
その他	0	2
営業外費用合計	17	38
経常利益又は経常損失(△)	△29	1,153
特別利益		
投資有価証券売却益	111	—
特別利益合計	111	—
税金等調整前四半期純利益	82	1,153
法人税、住民税及び事業税	53	212
法人税等調整額	23	41
法人税等合計	77	254
四半期純利益	5	899
親会社株主に帰属する四半期純利益	5	899

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5	899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	△87
退職給付に係る調整額	9	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△88	△112
四半期包括利益	△82	786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82	786

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	82	1,153
減価償却費	153	161
のれん償却額	39	47
投資有価証券売却損益(△は益)	△111	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	△24
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18	△10
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△28	△4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	54	△473
受取利息及び受取配当金	△29	△26
支払利息	16	16
為替差損益(△は益)	△0	1
持分法による投資損益(△は益)	△2	△12
売上債権の増減額(△は増加)	744	2,093
たな卸資産の増減額(△は増加)	163	△3
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△21	△10
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,158	△733
未払金の増減額(△は減少)	△55	38
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△173	334
その他	14	11
小計	△318	2,565
利息及び配当金の受取額	29	26
利息の支払額	△16	△17
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△232	△16
営業活動によるキャッシュ・フロー	△537	2,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△5
有形固定資産の取得による支出	△84	△602
有形固定資産の売却による収入	1	5
無形固定資産の取得による支出	△48	△64
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	276	—
貸付金の回収による収入	—	17
事業譲受による支出	—	△95
その他	△30	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	108	△788
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△148	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148	△89
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△576	1,679
現金及び現金同等物の期首残高	18,775	17,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,198	19,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,001	2,630	4,863	115	17,611	—	17,611
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	—	—	134	135	△135	—
計	10,002	2,630	4,863	249	17,746	△135	17,611
セグメント利益又は損 失 (△)	△188	72	△24	70	△70	1	△69

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,959	4,858	4,904	128	19,851	—	19,851
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	85	59	—	141	286	△286	—
計	10,045	4,917	4,904	270	20,138	△286	19,851
セグメント利益又は損 失 (△)	△178	1,256	△29	77	1,126	1	1,127

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。